

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公開番号】特開2005-287964(P2005-287964A)

【公開日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2005-041

【出願番号】特願2004-110427(P2004-110427)

【国際特許分類】

A 6 1 B 10/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

G 0 1 N 21/27 (2006.01)

G 0 1 N 21/64 (2006.01)

G 0 2 B 21/06 (2006.01)

G 0 2 B 21/36 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 10/00 E

A 6 1 B 1/00 3 0 0 D

G 0 1 N 21/27 A

G 0 1 N 21/64 F

G 0 2 B 21/06

G 0 2 B 21/36

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体・臓器・組織を内から照明し、生体・臓器・組織を外から撮影する、生体・臓器・組織の観察方法。

【請求項2】

請求項1において、照明光・励起光を外部に射出する光射出部を生体・臓器・組織に導入し、光射出部から照明光・励起光を射出して生体・臓器・組織を内から照明し、生体・臓器・組織を外から撮影して生体・臓器・組織の透過像と蛍光像の少なくとも一方の光学像を取得し、取得した光学像の画像を表示装置に表示する、生体・臓器・組織の観察方法。

【請求項3】

請求項2において、生体・臓器・組織の腔に光射出部を挿入して照明する、生体・臓器・組織の観察方法。

【請求項4】

請求項2において、光射出部を生体・臓器・組織に刺して照明する、生体・臓器・組織の観察方法。

【請求項5】

請求項2において、光射出部を生体・臓器・組織に押し当てて照明する、生体・臓器・組織の観察方法。

【請求項6】

照明光・励起光を外部に射出する光射出部を生体・臓器・組織に導入し、光射出部から照明光・励起光を射出して生体・臓器・組織を内から照明し、生体・臓器・組織を外から撮影して生体・臓器・組織の蛍光像を取得し、取得した蛍光像の画像を他の画像と比較して生体・臓器・組織内の蛍光物質の量や面積の経時変化を比較したり検討したりする、生体・臓器・組織を用いた実験方法。

【請求項 7】

請求項 6 において、さらに生体・臓器・組織を内から撮影して生体・臓器・組織の蛍光像を取得し、生体・臓器・組織を外から撮影した蛍光像の画像と生体・臓器・組織を内から撮影した蛍光像の画像とを用いて生体・臓器・組織内の蛍光物質の量や面積の変化をミクロ的かつマクロ的に観察することによって蛍光物質の量や面積の経時変化を比較または検討する、生体・臓器・組織を用いた実験方法。

【請求項 8】

請求項 6 において、生体・臓器・組織を外から撮影して透過像と蛍光像とを取得し、透過像の画像と蛍光像の画像とに基づいて生体・臓器・組織内の蛍光物質の位置や量や面積を検討する、生体・臓器・組織を用いた実験方法。

【請求項 9】

請求項 6 において、生体・臓器・組織を外から撮影して蛍光像を取得し、蛍光像の画像と蛍光像の微分画像とに基づいて生体・臓器・組織内の蛍光物質の位置や量や面積を検討する、生体・臓器・組織を用いた実験方法。

【請求項 10】

請求項 6 において、波長が異なる複数種類の励起光で生体・臓器・組織を内から照明し、生体・臓器・組織を外から撮影して取得した複数の蛍光像の画像に基づいて生体・臓器・組織の自家蛍光を分離して生体・臓器・組織の少なくとも一つの蛍光像の画像を得ることによって生体・臓器・組織内の蛍光物質の位置や量や面積を検討する、生体・臓器・組織を用いた実験方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】生体・臓器・組織の観察方法および生体・臓器・組織を用いた実験方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、生体・臓器・組織を観察する技術に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、ひとつには、生体・臓器・組織の観察方法に向けられている。本発明の観察

方法は、生体・臓器・組織を内から照明し、生体・臓器・組織を外から撮影する。